

<白金標準先物、JM 社 PGM 市場レポートの見極め・・・>



(出所：オアシス)

中国政府は新型コロナウイルス感染拡大を受けゼロコロナ政策を推奨しており、上海市のロックダウンに続き北京市もロックダウンの懸念が高まりを見せている。そのためゼロコロナ政策で中国経済に悪影響が出始めており、製造業 PMI や非製造業 PMI で 50%を下回る動きを見せるなど景気減速の動きを示している。

特に白金市場において中国需要は、自動車触媒や宝飾需要などで合わせて 68.8 トンを消費しており、世界の総需要の 33%を占めるなど中国要因は価格形成において重要視されている。特に今週 16 日には、中国の小売売上高、JM 社の PGM 市場レポートが発表を控えている。そのため JM 社の PGM 市場レポートで 2021 年 5 月に発表し、19.1 トンの供給過剰の報告が、ロシア軍のウクライナ侵攻を受けた対ロシア経済制裁処置を受け、ロシア産の PGM 供給が皆無の状態である事や、中国の景気減速に伴う消費動向、また南アフリカでは 3 年ぶりの賃金交渉を控えながら、電力不足に伴う生産低下の動きなどを受けて、2021 年 5 月の 19.1 トンの供給過剰から改善が示される様であれば NY 白金で 1000 ドル、白金標準先物でも 4000 円を試す値動きが予想される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が下げながら、シグナルは切り上げており、RCI でも短期が下げながら、長期も下げだすなど、目先オシレーターは下向きを紳示している。ただ 10 日移動平均線が切り上げながら 40 日移動平均線を上回る可能性が高く、下げ渋る動きが予想される。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 995,500 円(2022 年 5 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 5 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>